

議員派遣結果報告書

1	名 称	北条島の座談会
2	場 所	北条島集落センター
3	期 間	令和8年9月27日（日） 1日間
4	内容・成果	<p>30代、40代グループ（中山含め6人）</p> <p>○バスを使った通学については保護者としては考えていない。この距離であれば歩いて行ってほしいし、雪の人かでも頑張してほしいと思っている。</p> <p>○通学路を北尾→旧道（田井→国坂）→小学校に変更しようと思い、保護者で歩いてみた。線路を越えたところに横断歩道がないこと、旧道は通勤時間でもあり交通量が多いこと、新1年生が複数いる中で通学路を変更することは危険を回避する点において上級生にとって負担が多いことから、変更しないこととした。</p> <p>○ただ、今の通学路が比較して安全というだけであって、今の通学路が安全であるとは思っていない。特に土下の線路を越えたところの押しボタン式信号機については、普段点滅信号であるので、赤に変わることを想定していない車もあり、赤信号でも止まらない車もある、また、黄色でスピードを上げる車もあり、危険である。また、線路を越えたところから右折する車もあり、過去には自転車との接触事故も起きている。死亡事故は起きていないが、かなり危険な交差点であることは間違いない。せめて、通学時間帯だけでも、普通の信号にならないだろうか。</p> <p>⇒信号機を、時間帯によっては時差式にすることや、半感應式信にできないか調べてみる、とコメント</p> <p>○消防団に割り当てられている仕事が多すぎる。祭りのときに神輿を担ぐことになっているが、消防団の主なメンバーは小学生のいる世帯であり、こども神輿を手伝いたいと思うが、大人の神輿に駆り出されるため、こども神輿はお母さんたちが手伝うことになってしまう。祭りにも腰を出すというのであれば、消防団ではなく、別の会や集まりを中心とした方がいい。</p>

		<p>○この話をするすると消防団の名簿から、これだけの人数がいるという話になるが、実質動けるのは一握りであり、消防団の名簿にしても、数合わせの名簿でしかないため、組織として再考する必要がある。</p> <p>○昔は 30 代 40 代の世帯が多かったために、消防団員も多かったし、1 世帯 1 人で成り立っていた。そして 1 世帯 1 人というのはその世帯を守る人が 1 人はいるということだったが、今は、世帯から 1 人ではなくなっているので、その世帯を誰が守るのかという新しい問題がある。実際、仕事を休んで消防団活動をしている人もいれば、仕事を優先する人もいる（生活のために必要なことは十分に理解している）。しかし、実際に消防活動、避難活動となったときに、同じ思いで助けることができるかということ、思いに差があることは間違いない。</p> <p>○消防団という枠そのものが障害になっている可能性もある。防災の観点からすると、自分の家族は自分たちで守りましょう、というのが本筋であり、そうあるべき。つまり、各世帯で 1 人はその知識を持っておくべきである。今の時代、電気があることがとても重要で、災害に関しても、電源確保はウエイトが大きい。電源さえあれば、調理できるし、暖や涼を得ることもできるし、通信機器も使える。各家庭にポータブル電源を導入すればいいが、価格が高い。ぜひ導入の補助をしてもらえるとありがたい。</p> <p>⇒ポータブル電源の各家庭への導入は災害対策として有効である。導入にあたっての補助は実現させたい案件であると考える、とコメント</p> <p>※話し合いの中で出た内容を、事前にも協議していたことがうかがえた。自治会に対する思いや要望が年代により違うこともあり、それがまとめられたことは良かった。その中から町に対しての要望も出てきた。同年代で、問題意識を共有して、解決策を模索していることが素晴らしいと感じられた。</p>
--	--	--

提出期限 令和 8 年 1 0 月 5 日